

科三第	科二第	科一第	科務庶	長所
110	6559			
長	長	長	長	

秘  
來

陸支密第一九一五號

昭和十六年度採用幹部候補生ノ取扱ニ關スル件達

首題ノ件ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年七月五日

陸軍大臣 東條英機



幹部候補生ノ採用及之ニ對スル階級付與等ニ關スル期日並ニ修業期間  
附表第一ノ如シ

二 集合教育ノ爲ノ分遣

- (1) 附表第二ノ區分ニ依リ分遣(教育)スル(教育總監所管學校ニ分遣スヘキ者ニ付テハ陸軍補充令施行規則第百條ノ手續ヲ行フコトナシ)モノトス
- (2) 分遣ノ爲ノ携行兵器附表第三ノ如シ著裝被服ニ付テハ昭和十五年陸普第七四一九號ニ依ルモノトス
- (3) 陸軍補充令施行規則第百條ノ師團長(之ト同等以上ノ權ヲ有スル部隊長ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ書類提出期日ハ左記區分ニ依ルモノトシ別ニ連名簿(要員區分ヲ明記ス)ヲ成ルヘク連ニ當該教育擔任部隊長ニ送付スルモノ

昭和十六年九月以前ニ分遣セラルヘキ者

昭和十六年八月五日迄

昭和十六年十月又ハ十一月ニ分遣セラルヘキ者

昭和十六年九月五日迄

昭和十七年三月又ハ四月ニ分遣セラルヘキ者

昭和十七年二月五日迄

(4) 師團長ハ前號ノ書類ノ外幹部候補生分遣ト同時ニ教育分遣人員表(附表第二ノ様式ニ準シ教育擔任部隊、要員区分、人員ヲ明カナラシム)ヲ陸軍大臣ニ提出スルモノトス

(5) 教育擔任部隊中幹部候補生ノ取扱並ニ報告等ニ關シ特ニ規定シアラサルモノハ昭和十四年勅令第五七八號陸軍ノ諸學校ニ於ケル幹部候補生教育ニ關スル件ヲ準用スルモノトス

### 三 補充交代要員充用

#### (1) 甲種幹部候補生

集合教育ヲ終リ見習士官ヲ命セラレタル者ハ將校ノ定員内トシ之ニ對スル取扱ハ左記各號ニ依ルノ外昭和十五年陸支機密第二五四號支那事變間關係部隊軍人軍屬等ノ補充交代等ニ關スル規程ニ依ルモノトス

(2) 滿洲ニ在ル師團長及飛行集團長、航空兵團司令官、支那派遣軍總司令官、北支那方面軍司令官、南支那方面軍司令官、支那ニ在ル天皇直隸ノ部隊長並ニ船舶輸送司令官(被補充部隊ノ所管長官ト略稱ス以下之ニ同シ)ハ當該部隊(航空兵團司令官ニ在リテハ其ノ轄下飛行集團ヲ除ク以下之ニ同シ)ノ將校ニ付左記区分ニ依ル補充交代要員ヲ昭和十七年四月一日現在ヲ以テ調査スルモノトス但シ經理部及衛生部ノ者ニ付テハ昭和十六年十二月一日現在、航空關係ノ者ニ付テハ昭和十七年十二月一日現在ヲ以テ更ニ補充交代要員ヲ調査スルモノトス

第一 缺員（一部ノ缺員ヲ置クコトヲ得）

第二 入營後概ネ三年半以上又ハ應召後概ネ二年半以上ヲ經過セル者

第三 入營後概ネ三年以上又ハ應召後概ネ二年以上ヲ經過セル者

第四 入營後概ネ二年半以上又ハ應召後概ネ一年半以上ヲ經過セル者

(2) 被補充部隊ノ所管長官ハ當該部隊ニ屬スル甲種幹部候補生（第一次採用ノ技術部幹部候補生及衣糧、建築

ノ經理部幹部候補生ヲ除ク）中兵科ノ者ニ在リテハ前號第一乃至第三、各部ノ者ニ在リテハ前號第一、第二

ニ該當スル者ノ補充交代要員ヲ殘置シ其ノ他ノ人員ハ各當該留守業務擔任部隊ニ轉屬ス

前項ノ轉屬ノ期日ハ集合教育終了ノ日トス但シ被補充部隊ノ所管長官ハ轉屬スヘキ豫定人員ノ連名簿（原所

屬部隊、要員區分、健康、成績其ノ他特殊事情ヲ記ス）ヲ(1)號ニ依ル各調査期日後三十日以内毎ニ留守業務

擔任部隊ノ所管長官ニ送付スルモノトス

(3) 被補充部隊ノ所管長官ハ(4)號ノ補充交代要員ヲ前號ニ依ル所屬部隊甲種幹部候補生ヲ以テ充足シ尙不足ス

ル補充交代要員ヲ附錄様式第一ニ依リ前號第二項ノ連名簿送付ノ都度之ト同時ニ當該留守業務擔任部隊ノ所

管長官ニ請求スルモノトス

(4) 内地、朝鮮、臺灣ニ在ル軍司令官及飛行集團長並ニ關東軍司令官ハ其ノ所屬幹部候補生（第一次採用技術

部幹部候補生及衣糧、建築ノ經理部幹部候補生ヲ除キ留守業務擔任部隊ニ在リテハ(2)號ニ依リ轉屬セラルヘ

キ者ヲ含ム）ヲ以テ隸下部隊（關東軍司令官ニ在リテハ其ノ隸下師團及航空兵團ヲ除ク）ノ將校ノ補充交代要

員及(8)號ノ請求人員ニ基キ成ルヘク各部隊ノ補充交代ヲ均衡ナラシムル如ク附錄様式第二ニ準シ補充交代計畫ヲ調製シ昭和十七年五月三十一日迄ニ陸軍大臣ニ提出スルモノトス但シ經理部及衛生部ノ者ノ補充交代計畫ハ昭和十七年一月二十日迄ニ、航空關係ノ者ノ補充交代計畫ハ昭和十八年一月二十日迄ニ更ニ陸軍大臣ニ提出スルモノトス

(5) 官衙、學校ノ所管長官(陸軍大臣直轄ノ部隊ノ長ヲ含ム)ハ其ノ轄下部隊ノ將校ニ付(1)號ニ依ル補充交代要員ニシテ甲種幹部候補生タル見習士官ヲ以テ補充スルヲ適當トスルモノアルトキハ(4)號ノ規定ニ準シ補充交代計畫ヲ各兵科部ノ該當期日迄ニ陸軍大臣ニ提出スルモノトス但シ昭和十五年陸支機密第二五四號支那事變間關係部隊軍人軍屬等ノ補充交代等ニ關スル規程附表第二ニ依リ請求セル人員ハ之ヲ明カナラシムルモノトス

(6) (2)號、(4)號及(5)號ニ基ク補充ノ時期ハ集合教育終了直後トシ其ノ實施ハ陸軍大臣ノ指示ニ依ルモノトス(4)號及(5)號ノ補充計畫ニ基キ陸軍大臣ハ一部之ヲ他隊ニ轉屬スルコトアルモノトス

所管長官ハ被補充部隊ノ所管長官ヨリ轉屬セラルヘキ者及自隊人員中他隊ニ轉屬スヘキ者(以上陸軍大臣ノ轉屬セル者ヲ含ム)ノ轉屬名簿ヲ成ルヘク速ニ教育擔任部隊長ニ送付スルモノトス

(ロ) 乙種幹部候補生

特ニ指示スルモノノ外修業期間中ハ他隊要員ニ充用セサルモノトス(下士官任官後ハ一般召集下士官ノ取扱ニ同シ)

## 四 修業ヲ終リタル者ノ臨時召集

修業ヲ終リタル者ハ修業ヲ終リタル日ノ翌日ニ於テ夫々現役服務部隊ニ引續キ臨時召集ス之カ爲現役服務部隊ノ所管長官ハ豫メ召集スヘキ者ノ本籍地、官(見込)氏名、召集期日、幹部候補生採用時ノ役種、兵種、徵集年其ノ他召集ニ必要ナル事項ヲ本人ノ本籍地所管師團長ニ通報シ本籍地所管師團長(現役服務部隊ノ所管長官)ハ右通報ニ基キ臨時召集ノ手續ヲナシ(ナサレ)タルモノトシテ所要ノ處理ヲナスモノトス

## 五 陸軍將校勤務適任證書付與標準及附證書ヲ有スル者ノ見習士官補充ノ時期

- (1) 幹部候補生出身ノ豫備役軍曹ニ付與スヘキ陸軍將校勤務適任證書ハ師團(之ニ準スル部隊ヲ含ム)ニ屬スル者(軍曹タルヘキ者)ノ概ネ十分ノ一ヲ標準トシ幹部候補生トシテ修業ヲ終リタルトキ之ヲ付與ス
- (2) (1)號ニ依リ適任證書ヲ付與セラレタル者ヲ見習士官ト爲スハ昭和十三年陸支密第三二一〇號支那事變間陸軍補充令ノ規定ニ依リ特別補充ニ關スル件ノ規定ニ拘ラス下士官トシテノ召集期間概ネ八月ヲ經過セル後トス但シ獸醫部見習士官ノ補充ニ關シ特ニ必要アル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス
- (3) 第三號ノ補充交代要員充用ニ關スル規定ハ前項ニ依リ見習士官ト爲サレタル者ニ付之ヲ準用ス
- (4) 陸軍補充令施行規則第百九十四條ノ二第二項ノ報告ニハ付與セラルヘキ資格者タル軍曹ノ全人員及付與人員ニ付兵科部別區分ヲ明カナラシムルモノトス

## 六 幹部候補生結果表ノ提出

- (1) 修業期間内ニ所屬部隊ヲ變更セラレタル者ニ關スル陸軍補充令施行規則第百七條ノ幹部候補生結果表ノ提出

ハ當該幹部候補生ヲ採用シタル部隊ノ所管師團長之ヲ行フモノトス之カ爲幹部候補生ノ轉屬ヲ受ケタル師團長ハ所管師團長ニ對シ所要ノ事項ヲ通知スルモノトス

(2) 幹部候補生結果表ノ提出期日ハ修業期間ノ終了後四月以内(乙種幹部候補生ニ在リテハ同次採用ノ甲種幹部候補生ノ提出期日ニ同シ)トス

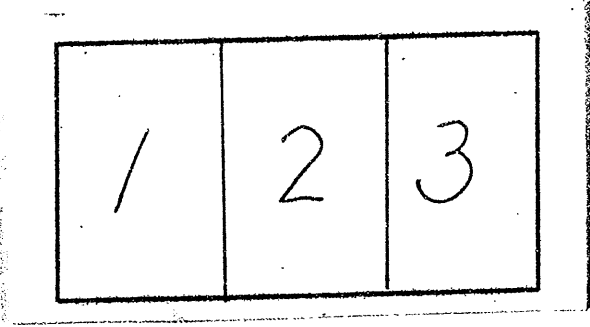


七 其ノ他

陸軍補充令施行規則又ハ既ニ示達シタル規定中本達ト異ル事項ニ關シテハ本達ニ依ルモノトス

幹部候補生ノ採用及之ニ對スル階級付與等ニ關スル期日並ニ修業期間表

備考	昭和十八年			昭和十七年							昭和十六年							年區分						
	七月三十一日	四月三十日	三月二十日	二月下旬	二月下旬	八月一日	七月下旬	五月一日	三月下旬	二月下旬	二月一日	二月一日	十二月二十日	十二月一日	十一月一日	十月一日	九月一日	八月二十日	七月二十日	七月一日	五月一日			
	第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者		第一、第二次採用者			
<p>一、階級ヲ進ムルノ期日カ集合教育ノ爲ノ入校(入隊)期日ト同シキ場合ニ於ケル階級ヲ進ムルハ集合教育擔任部隊長ノ命令ニ依ル</p> <p>二、乙種幹部候補生ニ對スル陸軍補充令第六十二條ノ三ノ試験ハ軍曹ニ進ムル月ノ前月ニ之ヲ行フモノトス</p> <p>三、甲種幹部候補生ヲ曹長ノ階級ニ進メ見習士官ヲ命スルハ學校等ニ於ケル集合教育ノ課程ヲ終リタル日トス</p> <p>四、已ムラ得サル事情アルトキハ聯隊長ハ師團長ノ認可ヲ受ケ本表ニ掲クル階級ヲ進ムル期日(前號ノ期日ヲ除ク)ヲ若干變更スルコトヲ得</p>	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿		
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿
	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿	了修業期間滿

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを証明する</p> <p>11 年 8 月 2 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者</p> <p>上野英樹  </p>	



昭和十六年度幹部候補生集合教育ノ爲分遣區分表

9980

教育擔任部隊		要員區分		人員		分遣區分		摘要		
前橋陸軍豫備校	士豊橋陸軍豫備校	久留米第一陸軍豫備士官學校	豊橋陸軍教導學校	仙臺陸軍教導學校	熊本陸軍教導學校	保定幹部候補生隊	陸軍通信學校	陸軍習志野學校	陸軍騎兵學校	陸軍野戰砲兵學校
歩兵中隊	機關銃	歩兵中隊	機關銃	歩兵中隊	機關銃	歩兵中隊	機關銃	歩兵中隊	機關銃	歩兵中隊
630	290	600	100	475	160	540	160	475	160	540
1,240	1,130	1,020	795	720	685	1,240	1,020	795	685	1,240
4D 1D 9D 14D 28D 51D 東軍船ノ全員	11D 機關銃要員	久第一豫備士官校及熊教官ニ分遣スヘキ部隊ノ通信隊要員但シ保定幹部候補生隊ニ分遣スル者ヲ除ク	22D 機關銃要員	4D 16D 25D 34D 38D ノ全員	5D 6D 12D 23D 56D 軍南ノ全員但シ56Dノ機關銃要員及各部隊ノ通信隊要員ヲ除ク	10D 15D 18D 19D 20D 39D 40D 11A 13A 臺灣軍ノ全員但シ通信隊要員ヲ除ク	3D 3D 11D 17D 29D 52D 55D 104D 116D 中ノ全員但シ11D 55Dノ機關銃要員及各部隊ノ通信隊要員ヲ除ク	2D 7D 8D 13D 22D 24D 33D 57D 軍北ノ全員但シ22Dノ機關銃要員及各部隊ノ通信隊要員ヲ除ク	5D 6D 23D 56D 軍南ノ全員但シ56Dノ機關銃要員及各部隊ノ通信隊要員ヲ除ク	13D 33D 39D 40D ノ通信隊要員
一、陸軍習志野學校、陸軍防空學校及陸軍通信學校ニ分遣スヘキ者ヲ除ク	二、本表ニ掲クル部隊以外ノ部隊ニ屬スル者ハ豊橋陸軍豫備士官學校ニ分遣スルモノトス	三、歩兵中隊中隊候補生ノ分遣ノ爲ノ要員區分ハ各師團毎ニ左記比率ヲ標準トスルモノトス(所要ニ應シ速ニ教育區分ヲ變更スルモノトス)	機關銃概ネ四分ノ一歩兵砲概ネ九分ノ一(大隊砲、機關銃、速射砲ノ各要員ハ概ネ同數トス但シ「ロ」部隊中ニ特ニ設ケラレタル速射砲大(中)隊ノ要員ハ右比率外トス)	聯隊通信概ネ二十五分ノ一歩兵中隊其ノ他	通信ノ既教育者ヨリ分遣スルモノトス	一、既教育者本連人員ヨリ超過スル場合ニハ其ノ人員ヲ増加スルモノトス	二、追撃及瓦斯ノ要員ヲ既教育者以外ヨリ分遣スル場合ニ於テハ成ルヘク野重、重砲又ハ工兵ノ部隊ヨリ選定スルモノトス	本要員區分ニ應シ入校者ニ付一部共ノ教育區分ヲ變更スルコトアリ	四、平野陸軍戰車學校ニ分遣スル者ノ外全	陸軍野戰砲兵學校ニ分遣スル者ノ外全

部	職	種	階	年	月	日	陸軍騎兵學校		陸軍砲兵學校		陸軍工兵學校		陸軍航空整備學校		陸軍航空通信學校		陸軍航空教育隊		陸軍兵器廠		陸軍兵器學校		陸軍航空整備學校		陸軍經理學校		關東軍主計下士官候補者教育隊		陸軍獸醫學校		陸軍醫學學校		陸軍獸醫學校			
							騎	馬	砲	重	工	機	通	飛	兵	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲
陸軍騎兵學校	騎	馬	一	八	〇	〇	四	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍砲兵學校	砲	重	二	八	〇	〇	五	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍工兵學校	工	機	三	六	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍航空整備學校	機	通	四	〇	〇	〇	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍航空通信學校	通	飛	五	〇	〇	〇	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍航空教育隊	飛	兵	六	〇	〇	〇	三	八	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍兵器廠	兵	砲	七	〇	〇	〇	二	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍兵器學校	砲	砲	八	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍航空整備學校	機	砲	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍經理學校	砲	砲	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
關東軍主計下士官候補者教育隊	砲	砲	一一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍獸醫學校	砲	砲	一二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍醫學學校	砲	砲	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陸軍獸醫學校	砲	砲	一四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

一、本表ハ昭和十六年度採用幹部候補生ノ陸軍補充令第六十條又ハ第六十一條ニ依ル教育ノ爲ノ分遣區分ヲ示シ「乙種」ハ乙種幹部候補生ヲ其ノ他ハ甲種幹部候補生ヲ示ス

二、分遣スヘキ者ハ特ニ示スモノノ外當該要員ニ應スル既教育者トス

三、陸軍野戰砲兵學校ニ於テ氣球ノ教育ヲ終了シタル幹部候補生ハ引續キ氣球隊ニ分遣スルモノトス

四、分遣區分中16Dトアルハ58Dノ者ヲ含ミ16Dノ外地派遣ニ際シテハ全員58Dニ殘置セシムルモノトシ東關等トアルハ各其ノ軍ノ直轄部隊ノ者トス

五、各教育擔任部隊ノ教育スヘキ人員ハ概數ヲ示ス

本要員區分ニ應シ入校者ニ付一部其ノ教育區分ヲ變更スルコトアリ



附表第二屬表

昭和十六年度幹部候補生集合教育ノ爲ノ分遣(歸隊)ノ時期及期間表

考 備	其ノ他ノ部隊	陸軍野戰砲兵學校 (氣球關係ノモノ)	陸軍軍醫學校	陸軍主計下士官 候補者教育部	陸軍經理學校	陸軍兵器學校	陸軍兵器廠	第十一航空教育隊	陸軍氣象部	陸軍航空整備學校	陸軍航空通信學校	水戸陸軍飛行學校	教育擔任部隊			
													分遣	歸隊		
													期	日	間	時
<p>一、本表中「乙種」ハ乙種幹部候補生ヲ、其ノ他ハ甲種幹部候補生ヲ、「第一次」、「第二次」ハ第一次、第二次採用者ヲ示ス但シ陸軍軍醫學校ニ分遣スヘキ「第一次」ノ者中ニハ附表第二ノ區分ニ依ル第二次採用者ヲ含ム</p> <p>二、氣球隊幹部候補生ハ野戰砲兵學校ニ於ケル教育ニ引續キ氣球聯隊ニ於テ約六月本規定ニ依ル集合教育ヲ行フモノトス</p> <p>三、教育擔任部隊到着時刻ハ午前九時トス</p>			第二次	第二次	第二次				第二次	第一次			分遣	歸隊		
	昭和十六年十月一日	昭和十六年十月一日	昭和十六年九月三日	昭和十六年九月三日	昭和十六年九月三日	昭和十六年八月一日	昭和十六年七月二十日		昭和十七年三月一日	昭和十六年九月一日			日	間	期	
	概ネ十一月	概ネ五月	概ネ六月	概ネ六月	概ネ五月	概ネ六月	概ネ六月	乙種	乙種	概ネ六月	概ネ一年			月	年	年
			第二次	第二次	第二次	乙種	乙種		乙種	第一次				隊	時	
			昭和十七年八月	昭和十七年八月	昭和十七年八月	昭和十七年七月	昭和十七年七月		昭和十七年八月	昭和十七年八月	昭和十七年八月			期	期	

幹部候補生携行兵器員數表	
兵	品
部	目
員	數
兵 科 部 (技術部及經理部ヲ除ク)部	當該兵科部要員(軍曹(伍長)ノ平時携帶兵器兵器用物品(練脂器、腔中塗油紐ヲ含ム)) 歩兵(軍曹(伍長)ノ平時携帶兵器、兵器用物品(練脂器、腔中塗油紐ヲ含ム))
全	全
部	部
考	備
一、本表品目ノ外小銃携行者ハ小銃擬製彈一五ヲ携行セシムルモノトス 二、技術部兵技幹部候補生ニ在リテハ三十年式銃劍一ノミトス但シ既ニ分遣セラレタル者ニ付テハ其ノ分遣ニ方リ定メラレタル所ニ依ル	

附錄様式第一

將校補充交代人員請求表

昭和 年 月 (軍) 日

考 備	計	戰 車	師 團 通 信		毒 制		斯 瓦		迫 擊	兵 步				要 員 區 分	要 員 區 分			
			乙	甲	乙	甲	聯 隊 通 信	步 兵 砲		機 關 銃	步 兵 中 隊							
												(官尉) 員 定						
												現 特 別 志 願 員	現 在 人 員 (尉 官)					
												以二 年下 半	豫 備 士 校 卒 業 者	其 ノ 他 ノ 者	以二 年上 半	計	ル ス 對 員 定 (足不) 過	摘 要
												以三 年上 半			以三 年上 半			
												以一 年下 半			以一 年上 半			
												以二 年上 半	以二 年上 半					

(註)

- 一 本表ハ昭和十六年十二月請求ノモノハ經理部及衛生部ノ者、昭和十七年四月請求ノモノハ兵科部ノ者全員、昭和十七年十二月請求ノモノハ航空關係ノ者ニ付記載スルモノトス
- 二 補充實施(人員、期日等)ニ關シ特ニ意見アルモノハ其ノ旨摘要欄ニ記載スルモノトス
- 三 要員區分ハ附表第二ノ區分ニ依ル
- 四 「尉官」ニハ見習士官ヲ含ムモノトス

附錄様式第二

昭和十六年度甲種幹部候補生補充交代計畫表

昭和 年 月 日  
(集 團)

考 備		補充交代											
		要員區分				區分							
	計	步兵中隊	機關銃	步兵砲	聯隊通信	迫撃	瓦	斯	制	毒	師團通信	戰車	
		要補充人員	補充可能人員	過(不足)人員	要補充人員	過(不足)人員	本規定第三號(1)號第一乃至第三ノ補充實施ノ爲ノ過(不足)人員	本規定第三號(1)號第一乃至第三ノ補充實施ノ爲ノ過(不足)人員					
		摘要											

(註)

一 「補充可能人員」ハ昭和十七年一月調製ノモノニ在リテハ昭和十七年二月又ハ三月集合教育ヲ終了スヘキ豫定ノ經理部及衛生部  
甲種幹部候補生ノ人員、昭和十七年五月調製ノモノニ在リテハ昭和十七年七月又ハ八月集合教育ヲ終了スヘキ豫定ノ甲種幹部候  
補生ノ人員、昭和十八年一月調製ノモノハ昭和十八年二月集合教育ヲ終了スヘキ豫定ノ航空關係ノ甲種幹部候補生ノ人員トス但  
シ第一次採用ノ技術部幹部候補生及衣糧、建築ノ經理部幹部候補生ヲ除ク

二 「要員區分」ハ附表第二ノ區分ニ依ル但シ兵技ニ在リテハ火工、鍛工、技工、機工、電工ニ之ヲ細分スルモノトシ特ニ專攻課目  
ニ付希望アルモノハ之ヲ明示スルモノトス

三 各部ノ者ノ過(不足)人員上段ノ欄ニハ本規定第三號(1)號第一號(1)號第二ノ補充實施ノ爲ノ過不足人員ヲ「」ヲ附シ併セ記載ス  
ルモノトス